

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	学習支援員派遣事業(スクールメンタルフレンド派遣事業)	所管	教育委員会学校教育部 教育センター
			Tel 2923-2396

事業の目的 (何の為に 行うか)	多動傾向や軽度の発達障害等で不適応状態にあり、特別に配慮を要したり、登校(園)しぶりや不登校(園)気味の園児・小中学生に対し学習・適応・自立等の支援を行い、集団への適応能力を高める。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象として いるか)	所沢市立幼稚園・小中学校に在籍し、特別に配慮を要する園児、児童生徒の中で個別の支援を希望した者	対象とした数	24	人
		実際に 利用した数	24	人

活動の内容	(何を したか)	1 校・園長より対象としたい園児・児童生徒についての報告がある。 2 センター教育相談室職員と教職員で協議の上、派遣の必要性が認められた場合は、保護者了承のもと、学校からの申請に基づき学習支援員を派遣する。 3 学習支援員が行う支援の内容は、以下のとおりである。 ①児童等との心理的な交流活動を通して、情緒の安定や学級とのつながりをもてるような支援 ②児童等の学習支援を行い、基礎的・基本的事項をみにつけることができるような支援							
	活動実績	項目名	延べ支援回数	353	項目名	支援人数	24	項目名	単位
			-----	単位	回	-----	単位	人	-----

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	0	0	0	0.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	支援貢献度	貢献した人数(学習支援員・保護者・教職員からの聞き取り)／支援した児童生徒数	90	100	111.1
			-----	-----	-----
			単位	%	単位
			%	%	%

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり		増額	減額	終了

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []	終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了		

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	130500	TEL	2923-2396
事業コード	130510	学習支援員派遣事業(スクールメンタルフレンド派遣事業)		教育委員会学校教育部 教育センター		
開始年度	平成 14 年度	→	終了年度	平成 年度		
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令	
分野別計画・指針				学習支援員(スクール・メンタル・フレンド)の派遣要項		
関連・類似事業	のびのび学習支援					
総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び人・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱	3 相談活動の充実
					小柱	(1)教育相談の充実
行政改革大綱における行動計画への位置づけ		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○		
事業開始の背景	市内園児・小中学生の中には、特別な配慮を要したり、不登校(園)気味の者もあり、個別の支援を受けることで集団生活に適応しやすくなる者もいる。このような園児・小中学生に対して、早稲田大学大学院生を学習支援員として派遣し、学習・適応・自立等の支援を行い、集団への適応能力を高めるために導入された制度である。					

目的(何のために行うか、具体的)	多動傾向や軽度の発達障害等で不適応状態にあり、特別に配慮を要したり、登校(園)しづりや不登校(園)気味の園児・小中学生に対し学習・適応・自立等の支援を行い、集団への適応能力を高める。					
対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数		単位		利用数の考え方	
	平成 18 年度	18	人	平成 18 年度	18	人
	平成 19 年度	24	人	平成 19 年度	24	人
事業の具体的な内容及び実施方法	1 校・園長より対象としたい園児・児童生徒についての報告がある。 2 センター教育相談室職員と教職員で協議の上、派遣の必要性が認められた場合は、保護者了承のもと、学校からの申請に基づき学習支援員を派遣する。 3 学習支援員が行う支援の内容は、以下のとおりである。 ①児童等との心理的な交流活動を通して、情緒の安定や学級とのつながりをもてるような支援 ②児童等の学習支援を行い、基礎的・基本的事項を身につけることができるような支援					

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])					
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
平成19年度中に改善した点	よりよい支援体制が維持できるように、学習支援員との連携を密に行い、定期的な活動状況の報告をさせた。					

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		0	0	0
	決算(見込み含む)		0	0	0
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)
	正規職員人件費	人	0	人	0
	公債費				
	事業費合計		0	0	0
	財源内訳	一般財源	0	0	0
		国・県支出金			
		受益者負担金			
		市債			
		その他			
	市民一人当たり(単位:円)		0.0	0.0	
	利用数一単位あたり(単位:円)		0.0	0.0	

⑥指	項目名	延べ支援回数	児童生徒の支援を行った延べ回数	単位	回	H 18	244	H 19	353	H20見込み	300	将来目標
標	活動実績	支援人数	支援した児童生徒数	単位	人		18		24		15	
	成果分析	支援貢献度	貢献した人数(学習支援員・保護者・教職員からの聞き取り) / 支援した児童生徒数	単位	%	目標値	100	実績	100	100	90	90
				単位	%	達成率	100.0		111.1			実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1

⑦一	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
次	対象設定	<input checked="" type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		実施主体	所沢市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		受益と負担の関係	受益者負担の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
評	明らかとなった課題	学校からの支援員派遣要請が増加している					
価	平成20年度における目標設定	今期目標項目(何を)	スクールメンタルフレンドの資質の向上を図るための研修会を開催	達成水準(どこまで)	月1回スクール・メンタルフレンドの活動報告書の提出と検討	時期(いつまで)	平成21年3月
	平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)					
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	特別支援を受ける児童生徒の増加に伴い、学校からの学習支援員の派遣要望が増加している。					
	評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	教育センター所長・永井博彦			

⑧二	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
次	評価理由							
	評価日							
評	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		評価理由						
		評価日						

⑨	環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード		
個	個別計画における方向性	施策の体系			施策の方向	
別	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	1144	
計	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします				
	主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成				
	施策の方向	4教育環境の充実				

⑩	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	1144
個	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします			
	主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成			
別	施策の方向	4教育環境の充実			

⑪	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	1144
個	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします			
	主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成			
別	施策の方向	4教育環境の充実			

⑫	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	1144
個	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします			
	主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成			
別	施策の方向	4教育環境の充実			

⑬	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	1144
個	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします			
	主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成			
別	施策の方向	4教育環境の充実			

⑭	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	1144
個	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします			
	主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成			
別	施策の方向	4教育環境の充実			